

現代民俗学会 第24回運営委員会議事録

日 時：2013年7月27日(土)10:30～11:30

場 所：東京大学

出席者：及川、小熊、門田、武井、中野、林、宮内、室井（13人中8人出席、3人委任状）

1. 総務委員会報告

(1) 3年以上未納者の会員身分について

昨夏に書面で今春にメールで振り込み依頼をした3年超未納者の会員について会則に則り退会とした。これについて、今後は会からの通知だけでなく、総務委員長個人からの振り込み依頼も行うべきとの意見が出された。

また、予算案の会費収入について、会員数からでなく、実際に振り込まれる見込みの額を元を立てるべきとの意見が出された。

(2) 7月締めの会計報告。前項同様、未納者に会費の振り込みを求めるよう要望が上がった。

(3) 日本学術会議協力学術団体の申請

会員数の半数以上が研究者（大学教員・研究所所員）であることを求める申請条件について、当会の現状は、会員（学部生除いて159名）中の研究者比率が56%（大学教員81名、研究所所員8名）である。

(4) 電子公開について

複製権と電子公開権について執筆者に確認する「『現代民俗学研究』掲載論文の電子化及び公開に関する承諾書」（総務案）に対し、内容の変更を認めず取り下げや削除に応じないとする条項について、インフォーマントからの要望があった場合や、引用などをめぐり同業者から申し立てがあった場合の対処について、CiNii等がどこまで対応しているのかも含めて確認と検討が求められた。

この件は以降、電子公開作業部会を設けて検討し、運営委員会に諮ることとする。

2. 編集委員会報告

(1) 第5号の和文要旨

第5号の論文・研究ノート掲載者に対して和文要旨の提出依頼を行った（7月31日〆切）。とりまとめ後、総務にweb掲載を依頼する。

(2) 第6号のエントリー状況

5月31日の期限までに14本のエントリーがあった。

(3) 投稿・審査状況

7月1日の期限までに11本の投稿があった。ただちに書式チェックを行い、規定違反やページ数の超過等の問題を解消した上で、7月9日までに論文8本・研究ノート2本を受理した（論文1

本は不受理)。あわせて投稿者のうち未入会者、会費未納者が含まれていないことを確認した。

(4) 投稿原稿に対する「下読み」

今号では、査読前に編集委員による「下読み」を実施することとした。「下読み」によって、投稿原稿の基本的な問題点（アカデミック・ライティングの形式に則っているか否か）を把握し、査読者選定の参考情報としてそれを共有しながら、外部査読者へ提供する参考情報を作成する。以上により、査読と編集作業の効率化をはかることが狙いである。

(5) 今後のスケジュール

査読者の選定・査読依頼（7月下旬）→査読到着（8月下旬）→評価の決定と改稿指示（9月中旬）

→再投稿受理・再査読依頼（10月中旬）→再査読到着（11月上旬）→改稿指示（11月中旬）

→再々投稿受理（12月上旬）→最終審議・採否通知（12月中旬）

→書式統一・入稿（12月中旬～1月上旬）→校正・納品（3月末日）

なお印刷所は、4号までの実績に鑑み、従来通り株式会社イセブ（茨城県つくば市天久保2-11-20）とする予定である。

(6) 依頼原稿の状況

今号では「特集」として以下の特集企画を巻頭に掲載する。

・特集テーマ：〈民俗宗教〉研究のフロンティア（仮題）

・構成：序 門田岳久（2ページ）

論文①梅屋潔氏「物語論とアート・ネクサス—民俗宗教理解の新展開に関する試論」（仮題）
（15ページ）…8月末締切

論文②近藤祉秋氏…第5号の梅屋氏のコメントに対するリプライを核にした論稿
（8ページ程度予定、梅屋論文の枚数により調整）…11月末締切

・分量・予算：全体で約25ページ前後。基本的に依頼原稿専用の予算枠（5万円）をあてる予定

・進捗状況：両者とも6月中に内諾をいただき、正式依頼済み。

(7) ページ数試算と誌面編成

現在の投稿状況をふまえた誌面編成の見通しは以下の通りである。

一般投稿分（試算：104～114ページ程度）、その他（試算：26ページ程度）以上の試算によると、特集分を除く誌面は合計130～140ページとなる。批評・コメントは、現時点では予算超過のおそれもあることから依頼は見合わせ、今後の審査状況により判断する。

なお、過去の（株）イセブによる見積もり実績では、本年度予算額（印刷費400,000円）で印刷可能な上限ページ数は147ページ程度とされている。

3. 研究企画委員会報告

次回以降（9月、11月、3月予定）の研究企画について、進捗状況・見通しについて報告。

午後開催の研究会会場で次回9月の研究会の告知チラシを配布した。

メール審議記録 (2013年3月～2013年7月)

・4月5日：広告の受け容れ (小熊会長より)

学会発表サポートサービスのチラシを会誌発送時に同封する件の承認。

→4月上旬に発送し、広告費は寄付及びその他の収入に計上。

・4月11日：退会・会員身分について

会則8条「継続して2年会費を滞納した会員は、退会したものと見なす」に則って、未納のまま会員資格を削除した人 (2012年度までに過去に9人)。いずれも名簿上に記録。もしこの該当者が再度入会を求めてきた場合、この記録に基づいて、過去に会員だった時期の未納分を求めた上で入会を認める。

課題2点。

1. 前年度分が未納の会員に、2ヶ年分(=前年+当年)の振込依頼とともに、未納年度の会誌を送る (今期に当てはめると「2012年分が未納の会員に、2ヶ年分(=2012+2013)の振込依頼とともに、未納分の会誌(=2012年度付の会誌5号)を送る」というやり方の是非について。未納会員の増加傾向と合わせ、6号発送時まで再考。

2. 入会した年の会費を払わない会員の会員資格について、該当者への督促を今後徹底。

・5月5日：7月の研究会の企画報告回覧 (室井委員より)

・5月27日：委嘱委員の補填について発議 (中野委員・武井委員より)

以下の委嘱委員の補填について承認された。

編集委員会：上形智香(筑波大学大学院1年次生)

総務委員会：尾曲香織(筑波大学大学院3年次生)

いずれも任期は次年度年会(=運営委員改選)までとする。

新入会員承認。3月末以降、17名の入会が承認された。

氏名	所属	テーマ	区	年度	承認
川浦康至	東京経済大学	社会心理学、名前	一	2013	3/21
齋藤典子	名古屋大学大学院文学研究科 博士研究員	文化人類学・民俗学・ジェンダー学	一	2013	4/2
有本尚央	京都大学大学院文学研究科	社会学、都市祭礼研究	学	2013	4/4
永松 敦	宮崎公立大学人文学部	歴史民俗学、狩猟民族、民俗芸能	一	2013	4/10
尾曲香織	筑波大学人文社会科学研究科	地域における共有物の管理と処分について	学	2013	4/18
上形智香	筑波大学人文社会科学研究科	信仰について。蒼前信仰の変化と存続	学	2013	4/18
戸邊優美	筑波大学人文社会科学研究科	民俗学。女性の社会関係とコミュニケーションに関する研究	学	2013	4/18
白 松強	九州大学文学部比較宗教学研究 研究室	東アジア地域における文化遺産保護 に関わる政策論的比較研究	学	2013	5/8
于 洋	神奈川大学歴史民俗資料学研	女性から見る中国漁業社会の変容	学	2013	5/17

	究科				
姚 琮	神奈川大学歴史民俗資料学研究科	現代における日本の疫神祭礼	学	2013	5/17
李 徳雨	神奈川大学歴史民俗資料学研究科	近代化における食文化	学	2013	5/17
外山日出男	城西国際大学大学院比較文化専攻博士後期課程	比較文化、芸能と宗教	学	2013	5/23
田邊 元	早稲田大学大学院スポーツ科学研究科	武道論、スポーツ人類学、文化財保存科学	学	2013	5/28
廣田龍平	筑波大学人文社会科学部研究科	文化人類学。日本・トルコ。幽霊・妖怪・怪異	学	2013	6/3
古澤智裕	筑波大学情報学群知識情報・図書館学類	民俗資料の電子化や方法論	学	2013	6/6
岸本昌良		結婚式、料理人など	一	2013	6/7
織田佐由子	芝浦工業大学	福島県奥会津地方に暮らした祖父母の人生を辿る	一	2013	6/26

退会希望の承認

金賢貞	東北大学東北アジア研究センター	一(2012 入会)
吉田(小堀)洋子		一(2009 入会)
山越英嗣	早稲田大学大学院人間科学研究科	学(2011 入会)